



拡張MOドライブユニット 取扱説明書



このたびは日本デジタル家電拡張MOドライブユニットをお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。
お求めの拡張MOドライブユニットを正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後はいつもお手元においてご使用ください。
シリアル番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、シリアル番号と保証書のシリアル番号が一致しているかご確認ください。

Rev.5.00(2002.10.28)



株式会社 日本デジタル家電



0120-498-798 <http://www.rokuraku.com>

必ずお読みください

電気製品は安全の為の注意事項を守らないと、火災や人身事故につながる恐れがあります。事故を防ぐための製品の取り扱い方法と「安全上のご注意」事項が、この取扱説明書に記載されておりますので、よくお読みの上、安全にご利用下さい。

大切な記録の場合には、必ず事前にためし録りをし、正常に記録されていることを確認してください。

万一不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償についてはご容赦ください。

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断では使用できません。

箱の中をお確かめください

にチェックしながらお確かめください。

- ✓ 拡張MOドライブユニット取扱説明書（1冊、本書）
- 拡張MOドライブユニット本体（1台）
- 拡張MOドライブ接続ケーブル（1本）
- 電源コード（1本）
- ハードウェア保証書（1枚）

その他の注意事項

拡張MOドライブユニットをお使いになるにあたって

本機は、弊社製品（製品名：ロクラク（外部拡張インターフェース搭載モデル））の拡張ユニットとしてご利用頂く事ができます。本機をロクラクに接続してお使いいただく場合のロクラク側の操作及び、取り扱いに関しては、ロクラク取扱説明書（CD-ROM版、印刷版）を参照ください。また、最新の取扱説明書につきましては弊社インターネットホームページ(URL <http://www.rokuraku.com>)にて掲載しておりますのでご覧ください。

保証とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際必ずご確認ください。また、お買い上げの際のレシートは保証期間の確定をするための資料として必要となりますので、保証書と共に大切に保管してください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

この製品の修理サービスは、センドバック方式を採用しております。詳しい内容につきましては、同梱の保証書をご覧ください。

具合の悪いときはサービス窓口へ

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- ・ 型名：
- ・ 購入年月日：
- ・ 故障の状態：できるだけ詳しくお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

お客様による部品交換・修理・改造・分解を行った場合(あるいはその痕跡が認められる場合)、保証対象外となりますのでご注意ください。その為、この製品がお手元に届いた際、必ず損傷等がないことをご確認ください。詳しくは保証書をご覧ください。

この製品は当社での修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

サービス窓口のご案内

お買い上げいただいた拡張MOドライブユニットは、お買い上げ日より1年間、サービス窓口で保証サービスを行っております。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一、故障などの不具合が生じた場合や、接続や操作の方法がわからない場合は、当社サービス窓口にお問い合わせください。

また、製品に対するご意見なども、お気軽にお寄せください。よりよい製品作りに生かしていきたいと考えております。

今後とも株式会社 日本デジタル家電の製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

操作・故障に関するお問い合わせはサービス窓口へ

E-mail アドレス	help@rokuraku.com
電話番号	 0120-498-798 (修理サポート係をご指定ください)
FAX 番号	03-5308-5081
サービス時間	10:00 ~ 17:00 (土曜・日曜・祝祭日を除く)
URL	http://www.rokuraku.com

目次

安全上のご注意	4
取り扱い上のご注意	6
・本機の取り扱いについて	6
・本機のお手入れについて	7
・MOディスクの取り扱いについて	7
・MOディスクのお手入れについて	8
・その他の注意事項	8
・ユーザー登録について	8

第1章 拡張MOドライブユニットの機能概略

本機の機能について	9
-----------	---

第2章 各部の名称と働き

各部の名称と働き	10
MOディスクの使用について	11

第3章 接続と電源投入

拡張MOドライブユニットとロクラクを接続する	13
電源を入れる	14

第4章 MOディスクの挿入と取り出し

MOディスクを挿入する	15
MOディスクを取り出す	16

第5章 機能操作

以下の項目を実行するにはには、ロクラク側から操作します。

MOディスクをクイックフォーマットする	17
MOディスクを物理フォーマットする	19
ディスクIDの確認	21
MOディスクのファイルを直接再生する	24
MOディスクのファイルを削除する	26
MOディスクのファイルをロクラクにコピーする	28
ロクラクのファイルをMOディスクにコピーする	30
ロクラクの操作でMOディスクディスクを取り出す	32

ユーザー登録について

ユーザー登録フォーム	34
------------	----

安全上のご注意

ご使用前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全にお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

[表示の説明]

表示	表示の意味
 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があることを示します。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があることを示します。

[図記号の説明]

図記号例	図記号の意味
 禁止	禁止（絶対にしてはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。
 強制	強制（必ず指示に従い行うこと）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。

 警告	
<p>異常が起きたときは使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万一、異常な音、におい、煙がでたときはすぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜くこと。 火災・感電の原因になります。 当社サービス窓口にご連絡ください。 	<p>電源は、交流 100V を使う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AC100V 以外でご使用になると、感電・火災の原因になります。
<p>分解しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改造・分解はしないこと。 けが・感電・火災の原因になります。 ・キャビネットははずさないこと。 内部に手を触れると、感電の原因になります。 	<p>内部に異物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部に燃えやすいものや金属、水などが入ると、火災・感電、事故や故障の原因になります。
<p>電源コードを傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源コードの上に重いものをのせたり落としたりしない。 ・電源コードを傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、熱器具に近づけたりしない。 ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない。 コードが傷ついて、感電・火災の原因になります。 	



警告 (つづき)

不安定な場所に置かない

・ぐらつく台や傾いた場所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



禁止

上に物を置かない

・重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。
・花瓶やコップなどから液体がこぼれだした場合、火災・感電の原因になります。



禁止

風呂場には置かない

・水気の多い場所での使用は、感電・火災の原因になります。



風呂場禁止

雷が鳴り出したら、本機に触れない

・感電・火災の原因となります。



接触禁止



注意

設置するときは、次のことをお守りください

・直射日光や熱器具のそばに置かない。
・仰向けや横倒し、さかさまにしない。
・押入れや本箱など風通しの悪い場所に置かない。
・布（テーブルクロスやカーテン）をかけない
・じゅうたんや布団の上に置かない。
・湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気の当たる場所には置かない。
風通しが悪かったり、置き場所によっては内部に熱がこもり、火災や感電の原因となります。



設置禁止

電源プラグを持って抜く

・電源コードを引っ張ると傷つき、感電・火災の原因となります。



プラグを持つ

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となります。



濡れ手禁止

電源プラグのほこりは定期的にとる

・火災の原因になります。



ほこりをとる

移動させる場合は接続線を外す

・電源プラグや外部との接続線を外したことを確認のうえ、移動する。感電や火災・けがの原因になります。



禁止

拡張MOドライブ接続ケーブルは電源ONのまま接続しない

・拡張MOドライブ接続ケーブルは拡張MOドライブユニット及び、ロクラクの電源ONの状態では接続しない。故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意

本機の手理取りについて

保管、設置ときは

次のような場所での保管、設置は避けてください。

- ・極端に寒いところや暑いところ
- ・直射日光が長時間あたるところや暖房器具の近く(真夏の窓を閉めきった自動車内では50 を超えることがありますので、ご注意ください。)
- ・湿気、ほこりの多いところ
- ・たばこの煙の充満しているところ
- ・激しく振動するところ
- ・強い磁気を発生するものの近く
- ・強力な電波を発するテレビ、ラジオの近く
- ・本機は水平位置で使用するよう設計してあります。極端に傾けて使用することは避けてください。

使用するときは

- ・電源を入れたまま本機を動かさないでください。
- ・再生中およびコピー中などMOディスクにアクセス中(BUSYランプ点灯中)には電源OFFしたり、コンセントを抜いたりしないでください。
- ・急激な温度変化(毎時10 以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- ・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだ時や、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こる時があります。
結露が起きたときは、MOディスクを取り出した上、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると誤動作、故障の原因となります。
- ・ほこり、ちり及び、たばこの煙などが充満する場所では使用しないでください。(本機の機能低下、故障の原因となります。)
- ・揮発性の殺虫剤などがかからないようにしてください。(外装の変形や塗装がはげる原因となります。)

- ・すべての動作中に電源プラグを抜いたり、停電があった場合、記録内容が損なわれたり、あるいはすべて消える場合があります。
- ・無理にMOディスク挿入口を開けないでください。(故障の原因になります。)
- ・本機を磁石など磁気をもつものに近づけたりしないでください。(磁気の影響で動作が不安定になることがあります。)
- ・隣接して使用しているテレビなどに雑音が入る場合には2 m以上間隔を置くか、コンセントを別にしてください。
- ・落としたりして強い衝撃を与えないでください。(故障の原因となります。)
- ・重いものを本機の上に載せないでください。(故障の原因となります。)
- ・温度上昇を防ぐため動作中に布などで包まないでください。
- ・本機背面にある排気口の前約10 cmほどはものを置かず、風通しの良い状態にしておいてください。
- ・本機は、弊社製品(製品名:ロクラク(外部拡張インターフェース搭載モデル))の拡張ユニットとしてご利用頂くことができます。その他(弊社、他社を含む)の製品に接続して使用しないでください。
- ・大切なファイルの場合には、必ず再生をし、正常に記録されていることを確認して下さい。本機使用中、万一何らかの不具合により、記録されなかった場合の補償及び付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化および消失など)に関して当社は一切の責任を負いません。データの修復は出来ませんので大切な映像などはビデオテープ等にダビングするなどしてバックアップを取っておくことをお勧めします。

本機に初めてMOディスクを挿入する場合には

初めてMOディスクを挿入する前に必ず本機の電源を入れてください。電源を入れることにより、輸送保護状態が解除され、MOディスクが挿入可能となります。

輸送保護状態を解除せずにMOディスクを挿入すると装置損傷の恐れがあります。なお、次回からは事前に電源を入れる必要はありません。

輸送、移動するときは

- ・必ず MO ディスクを取り出し、電源を切り、電源コードなどのコード類をすべてはずしてください。(MO ディスクを本機に格納したまま移動、輸送すると、本機の読み書き装置及び、MO ディスクをきずつけデータを読み書きできなくなる場合があります。)
- ・付属の Karton または同等品で梱包し、急激な衝撃をあたえないように注意してください。

長期間使用しないときは

- ・節電のため本機の背面スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

本機のお手入れについて

レンズ部分のお手入れについて

- ・長時間の使用をすると、本機のレンズ部分にほこり、ちり及び、たばこなどの煙などが付着して正常な読み書きができなくなるおそれがあります。
その場合には、本機のレンズ部分を専用のヘッドクリーナを使用して清掃するようにしてください。(3ヶ月に1回程度を目安として清掃してください。)

ヘッドクリーナを使用した清掃は次の手順で行ってください。

- 1 本機の電源を入れてください。
- 2 ヘッドクリーナを挿入してください。
- 3 ヘッドクリーナは自動的にローディングされヘッドクリーナに装着された清掃ブラシにより、レンズを清掃します。
清掃時間は約15秒かかります。
- 4 清掃が終了すると自動的にヘッドクリーナを排出します。

推奨ヘッドクリーナ

品名 光磁気ディスククリーニングカートリッジ
商品番号 0240470

本機表面のお手入れについて

- ・キャビネットやパネルのよごれは、乾いたやわらかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい時は中性洗剤溶液を少し含ませた布でよごれをふきとり、乾いた布で仕上げてください。
アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ・電源プラグの刃や刃の取り付け面にごみやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きごみやほこりを除去して下さい。
電源プラグの絶縁低下により、感電・火災の原因となります。

MO ディスクの取り扱いについて

MO ディスクとは

MO ディスクとは、光磁気ディスクの総称で、データの読み書きにレーザー光と磁場を利用した書き換え可能型の補助記憶装置のことです。ディスクへの書き込みは、あらかじめ磁化されているディスク表面にレーザー光を当て、磁化の方向を変えることでデータを書き込みます。また、読み出しは、ディスク表面にレーザー光を当て、反射した光の偏光方向を検出して読み取ります。

MO ディスクの取り扱いについて

本機にてMO ディスクをご使用になるにあたって、MO ディスクの性能と信頼性を確保するため MO ディスクのお取扱いについては、以下の注意事項を守って使用、保管及び、輸送してください。

- ・直射日光、急激な温度変化及び、高熱、多湿の場所では使用、保管しないでください。
- ・シャッタ部分、MO ディスク自体を強く押さえたり、落下などによる衝撃、激しい振動を与えたりしないでください。
- ・ほこり、ちりの多い場所やたばこの煙がたちこめる場所では使用、保管しないでください。
- ・シャッタ部分を開閉したり、ディスク媒体に指で触れたりしないでください。

- ・MOディスクの上に重いものをのせないでください。
- ・MOディスクを濡らしたりしないでください。
- ・MOディスクが破損しないように、丈夫な入れ物に入れ緩衝材などで覆うなどして輸送するようにしてください。

停電について

本機の動作中に停電等が発生したり、電源プラグをコンセントから抜いたりすると、場合によっては記録された内容が損なわれたり、消去されてしまう場合がありますので、ご注意下さい。

MOディスクのお手入れについて

MOディスクのお手入れについて

空気中に浮遊するごみ、ちり、たばこの煙などがディスク媒体に付着することにより、MOディスクの性能は低下するため、定期的な清掃をするようにしてください。(使用時間300時間ごと、または2～3ヶ月に1回程度を目安として清掃してください。)

MOディスクの清掃については、必ず、ご使用のMOディスク専用のクリーニングキットを使用し、クリーニングキット付属の使用説明書をよく読んでで正しく清掃してください。

その他の注意事項

免責事項について

- ・火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化および消失など)に関して当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、本書をもう一度ご覧頂き、各種設定をご確認下さい。また、ケーブル接続状態及び接続コネクタがしっかり挿し込まれている事等を点検して下さい。それでも正常に動作しない場合は、当社サービス窓口にお問い合わせください。

ユーザー登録について

本機のユーザー登録について

ユーザー登録はサポート、バージョンアップ等のサービスを受ける上で大切なものです。ご購入時ユーザー登録をすることをお勧めします。

ユーザー登録の登録方法については、同封のユーザー登録ハガキによる登録、インターネットによる登録及び、FAXによる登録の3つの方法があります。

インターネット登録の場合には、(株)日本デジタル家電ホームページ(<http://www.rokuraku.com/>)より、FAX登録につきましては、本書「拡張MOドライブユニット」ユーザー登録フォームの内容をご記入の上手続きを行ってください。

ご登録されていない場合、記入事項に誤りがある場合、あるいは記入もれのある場合、サポート及び、バージョンアップ等のサービスが受けられなくなる場合がありますのでご注意ください。(登録完了通知は致しませんので、記述内容をご確認の上、お送りください。)

本機の機能について

本機は、弊社製品：ロクラク（外部拡張インターフェース搭載モデル）の拡張ユニットとしてご利用頂くものです。以下に本機の機能概略を記載します。

1

1 ロクラクで録画したファイルをMOディスクにコピーする

本機は、ロクラクに接続頂いた上で、ロクラク内蔵ハードディスクに録画したファイルのバックアップ等にご利用いただけます。

1枚のMOディスクに最大4ファイルまでファイルをコピーすることができます。

（ただし、ファイルの大きさ及び、コピー先のMOディスク容量によっては4ファイルをコピーできない場合があります。）

注意：MOディスクにファイルをコピーする場合には、MOディスクのライトプロテクトタブを書込み可能状態にしておく必要があります。

ご使用のMOディスクをフォーマットしたロクラク以外からこの操作はできません。

2 MOディスクに記録されているファイルをロクラクにコピーする

著作権及び、それらに付随した権利関係保護の為、ご使用のMOディスクをフォーマットしたロクラクでのみ、MOディスクからロクラクにファイルのコピーができます。

注意：ご使用のMOディスクをフォーマットしたロクラクでない場合には、ディスクID確認作業をすることにより、この機能を使用できません。（ディスクID確認をしていない場合には“フォーマットがされていません。”のメッセージを表示します。）

3 MOディスクに記録されているファイルを直接再生する

MOディスクから直接ファイル再生することができます。

ただし、本機の制約上、トリック再生(早送り、巻き戻し、スロー再生、一時停止など)及び、プログラム再生などの高度な再生手段は機能しません。それらの再生を実行したい場合には、ファイルをロクラクにコピーした上、再生してください。

注意：ご使用のMOディスクをフォーマットしたロクラクでない場合には、ディスクID確認作業をすることにより、この機能を使用できません。（ディスクID確認をしていない場合には“フォーマットがされていません。”のメッセージを表示します。）

4 MOディスクに記録されているファイルを削除する

MOディスクのファイルを削除できます。

注意：MOディスクのファイルを削除する場合には、MOディスクのライトプロテクトタブを書込み可能状態にしておく必要があります。

ご使用のMOディスクをフォーマットしたロクラク以外からこの操作はできません。

5 MOディスクをロクラク用にフォーマットする

ロクラクのファイルをMOディスクにコピーするには、MOディスクをフォーマットしなければなりません。

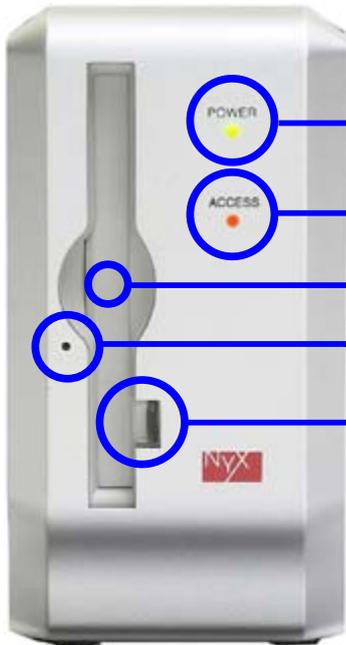
フォーマットしたMOディスクには個々にディスクIDが割り振られ、そのIDがMOディスクへのアクセスをするためのセキュリティIDの役割をします。

MOディスクをフォーマットしたロクラクからは、ディスクIDの確認作業はロクラク自身が自動で確認するため必要ありません。MOディスクをフォーマットしたロクラク以外で、ファイルの直接再生、MOディスクからロクラクへコピーする場合にディスクIDの確認が必要となります。

第2章 各部の名称と働き

各部の名称と働き

フロントパネル（前面）



電源ランプ

電源を入れた状態で、LEDが点灯します。本機をロクラクに接続するにはこのランプが消灯していることを確認の上、接続してください。また、電源を入れる場合には、本機の電源を入れた後、ロクラクの電源を入れてください。（詳しくは、「電源を投入する」の頁を参照ください。）

ACCESS ランプ

MO ディスクにアクセスしている時点滅します。

MO ディスク挿入口

MO ディスクを挿入、排出します。

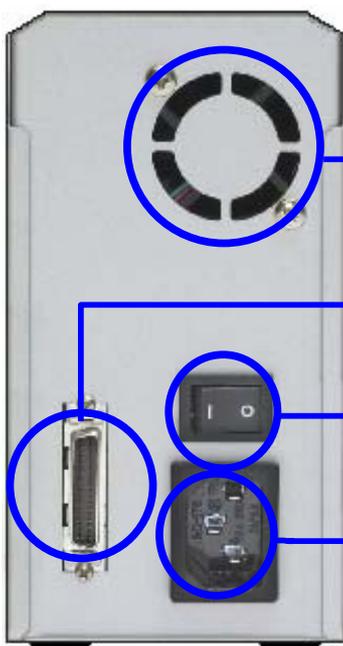
手動イジェクトホール

電源が入っていない場合は、このイジェクトホールにピンを入れ、押すと手動でMOディスクを取り出すことができます。（BUSY ランプ点灯中は絶対にイジェクト行為はしないでください。ファイル破損、装置の故障原因になります。）

イジェクトボタン / BUSY ランプ

このボタンを押すと、自動でMOディスクを排出します。また、MOディスク挿入時、取り出し時及び、MOディスクにアクセス中にはLEDが点灯します。

リアパネル（背面）



冷却用ファン排気口

本機で発生した熱を逃がすための排気口です。排気口の前約10cmには何も置かず、風通しの良い状態にしておいてください。

接続コネクタ

ロクラクのリアパネルにある「外部拡張インターフェース」と接続します。

主電源スイッチ

拡張MOドライブユニットの電源を入/切します。本機を使用する場合には、本機の主電源スイッチを入れた後、ロクラクの主電源スイッチを入れてください。

電源ケーブル接続端子

付属の電源コードと接続します。

MO ディスクの使用について

使用可能なMOディスク

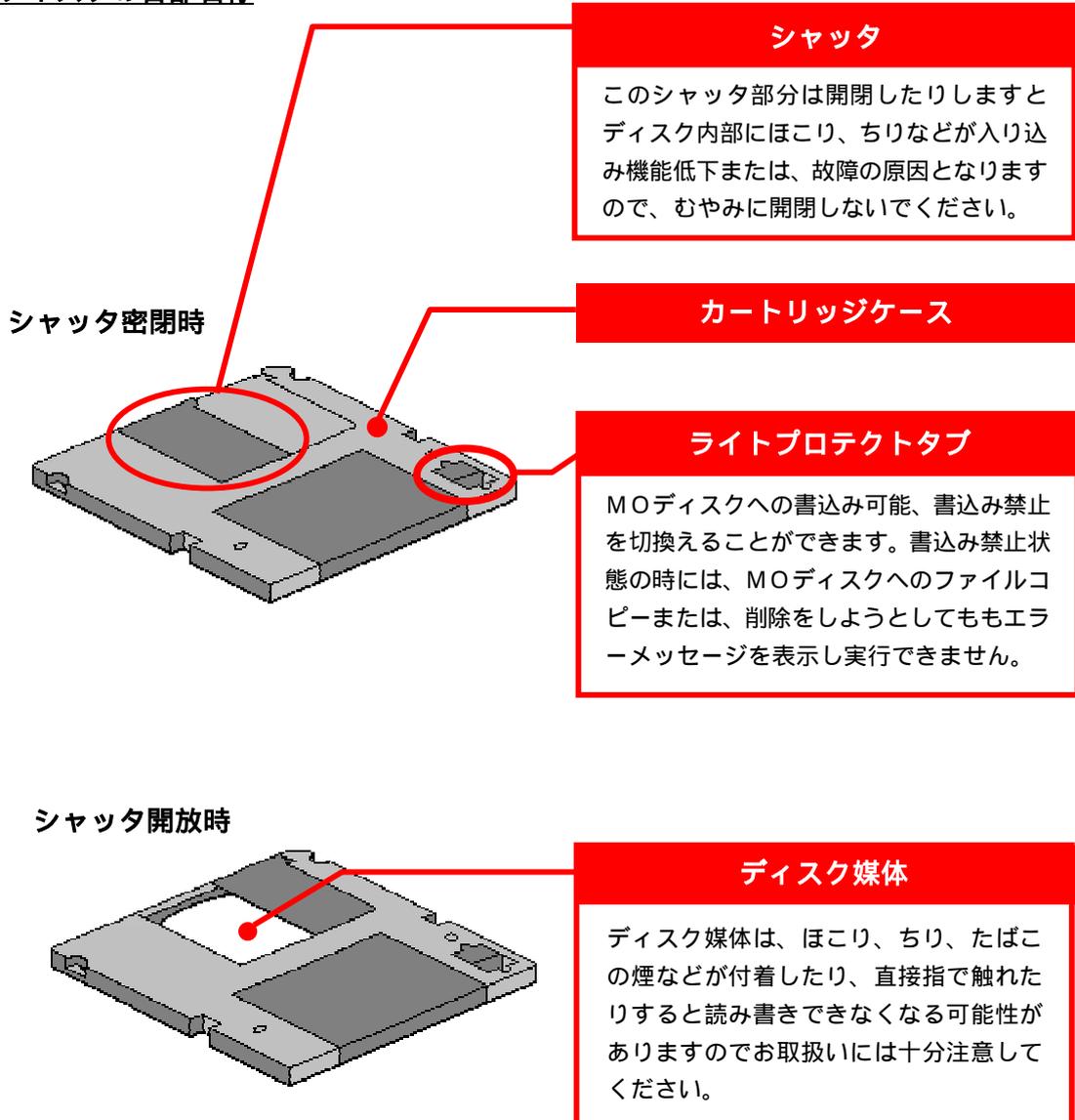
本機で使用することができる推奨MOディスクを以下に記載します。記載以外のMOディスクの場合には、本機は正常に読み書きできませんのでご注意ください。

2

- 1 MOディスクカートリッジ(640MB)
- 2 MOディスクカートリッジ(1.3GB)
- 3 MOディスクカートリッジ(2.3GB)

ご注意：メディアは市販のMOディスクをご利用いただけます。ただし、データフォーマットはロクラク専用フォーマットとなっておりますので、MOディスクに記録したファイルはロクラク以外のMOディスクプレーヤーなどでは視聴いただけません。

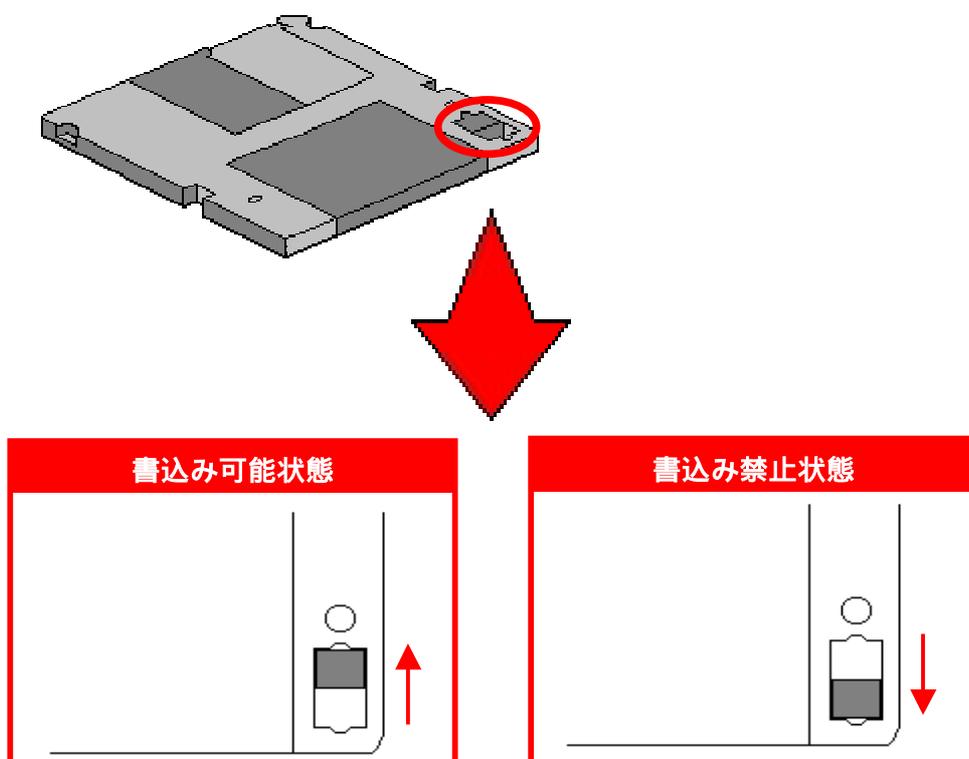
MOディスクの各部名称



MOディスクの書き込み可能・禁止設定

本機を使いロクラクのファイルをMOディスクにコピーしたり、MOディスクのファイルを削除する場合には、MOディスクのライトプロテクトタブを書き込み可能状態にしておく必要があります。もし、書き込み禁止状態でそれらを実行しようとした場合には、ロクラクはエラーメッセージを表示して処理を中止します。

MOディスク



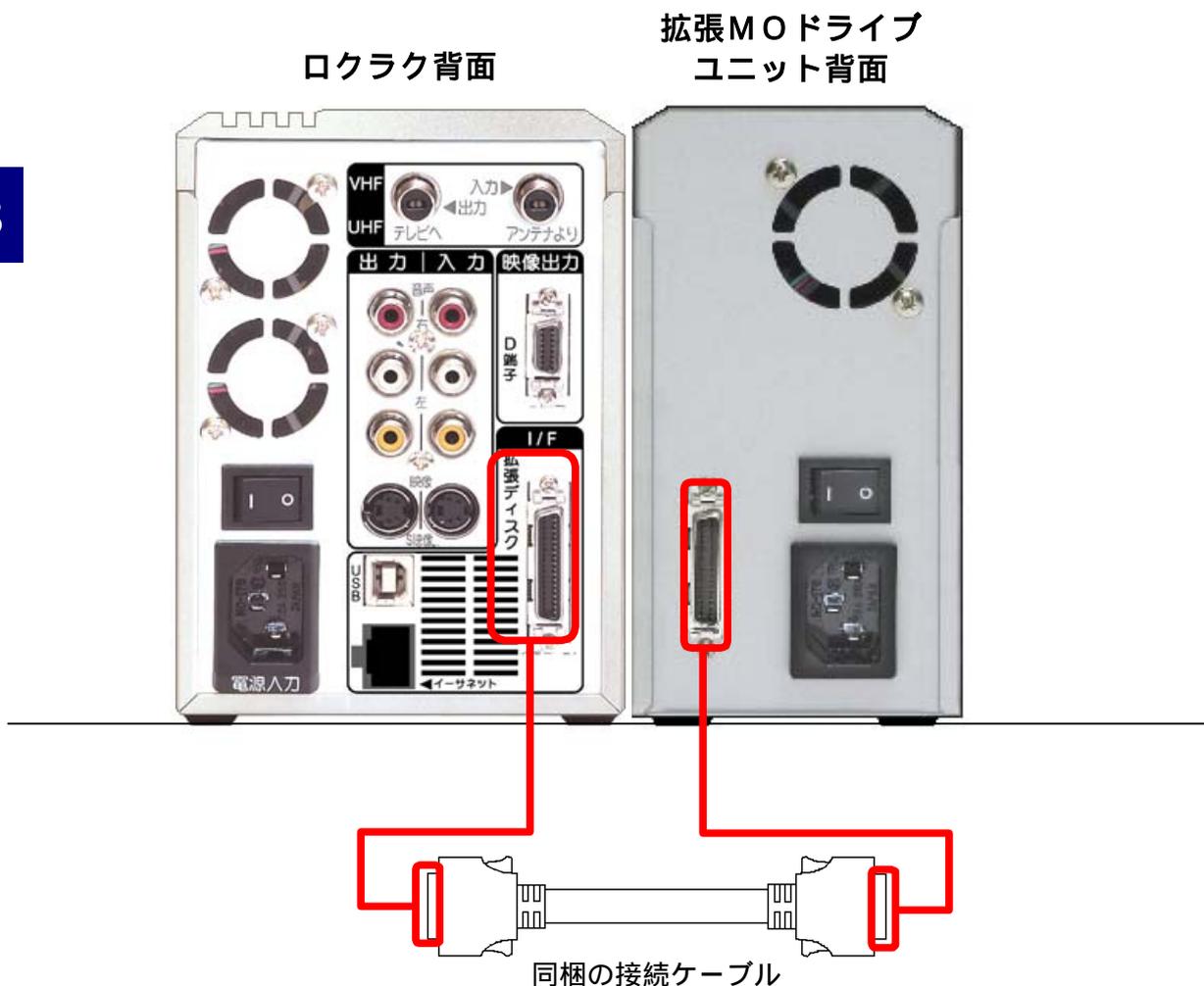
MOディスクに記録したファイルで大切なものはライトプロテクトタブを書き込み禁止状態にしておくことをお勧めします。

第3章 接続と電源投入

拡張MOドライブユニットとロクラクを接続する^{†1、2}

拡張MOドライブユニットを使用するには、まず、ロクラクと本機付属の接続ケーブルとを接続してください。

本機とロクラクとは、以下の図を参照の上接続してください。



†1 ロクラクと拡張MOドライブユニット間の接続は、拡張MOドライブ接続ケーブルのコネクタ部分を「カチッ」と音がするまでしっかり差込んでください。

†2 必ず本機および、ロクラクの主電源スイッチを切った上(「**I**」が押された状態)で接続してください。

警告 電源プラグは家庭用交流 100V のコンセントに接続してください。交流 100V 以外を使用すると火災・感電の原因となります。

注意 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お願い 接続するロクラク本体の取扱説明書もよくお読みください。

接続するときは、必ず本機およびロクラク背面の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

電源を入れる

拡張MOドライブユニットを使用するにはロクラクと本機を付属の接続ケーブルにて接続してください。

ロクラク(リアパネル)



1 ロクラクと拡張MOドライブユニットの電源を切る

・主電源スイッチの「|」表示が押された状態で電源が切れます。

2 ロクラクと拡張MOドライブユニットは接続ケーブルのコネクタ部分を「カッチ」と音がするまでしっかり差込みます

「拡張MOドライブユニットとロクラクを接続する」の頁を参照ください。

3 拡張MOドライブユニットの電源を入れる^{†1}

・主電源スイッチの「|」表示が押された状態で、電源が入ります。
拡張MOドライブユニットのフロントパネルにあるPOWERランプが点灯します

4 ロクラクの電源を入れる^{†2}

・主電源スイッチの「|」表示が押された状態で、電源が入ります。
ロクラクのフロントパネルにあるPOWERランプが点灯し、テレビ画面にロクラクのロゴが表示されます。
ロクラクの電源を入れるにはロクラク取扱説明書も参考にしてください。

拡張MOドライブユニット(リアパネル)



†1 本機の電源を入れると、本機は初期自己診断を実行します。初期自己診断中は、イジェクトボタンが約1秒点灯します。正常ならば消灯します。異常が検出された場合には、イジェクトボタンが点滅します

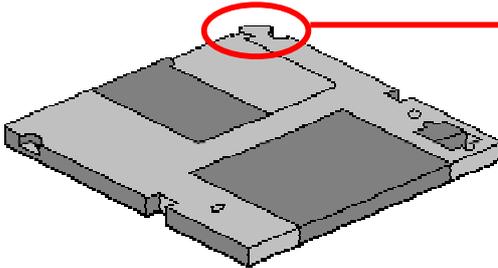
†2 ロクラクの電源を投入する前に拡張MOドライブユニットの電源を入れてください。(ロクラクの電源を先に入れた場合には、拡張MOドライブユニットを認識せず、「ロクラク」メニューを表示しても「MO ディスク」の項目を表示しません。)

MOディスクを挿入する

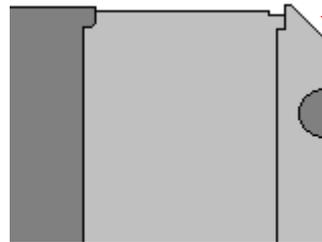
拡張MOドライブユニットにMOディスクを挿入してお使いください。

本機にMOディスクを挿入する場合には、以下の図を参考に挿入してください。また、MOディスクには表、裏がありますのでご注意ください。スムーズに挿入されない場合、必ず、MOディスクを一度本機から抜き取り、表、裏を確認の上、再挿入してください。(強引に挿入するとMOディスク破損及び、本機の故障の原因となりますのでご注意ください。)

MOディスク



MOディスク部分拡大図



欠き込みがある部分を上向きにしてMOディスク挿入口に差し込んでください。

MOディスク挿入図



- 1 すでにMOディスクが入っていないことを確認する
- 2 MOディスクを矢印の方向に差し込む^{†1}

・奥まで差し込むと、MOディスクがスライドし格納されます。

MOディスクが格納されるとBUSYランプが点灯します。ローディングが完了するとBUSYランプは消灯します。(BUSYランプ点灯中は本機の操作はできません)

†1 MOディスクを挿入できない場合には、MOディスクを本機から抜き取り、ロクラク及び本機の主電源を切った上「電源を入れる」の頁に従い電源を入れた後、もう一度MOディスクを挿入してください。

MOディスクを取り出す^{†1}

拡張MOドライブユニットからMOディスクを取り出します。

1 [イジェクト]ボタンを押す

・BUSYランプが点灯し、自動で本機から排出されます。

フロントパネル



イジェクトボタン / BUSYランプ

排出したMOを取り出すには、BUSYランプが消灯し、完全に排出されるのを待ってから取り出してください。

イジェクトボタンを押してもMOディスクが排出されない場合には、ロクラク及び本機の主電源を切った上、MOディスクが停止していることを確認し、手動イジェクトホールを使い取り出してください。^{†2}

†1 この項目によるMOディスクの取り出しの他にロクラクからの操作によるMOディスクの取り出し方法もあります。

ロクラクからの操作でMOディスクの取り出す方法は「ロクラクの操作でMOディスクを取り出す」の頁を参照してください。

†2 BUSYランプが点灯している間は、MOディスクの排出手続き中です。無理に取り出さないでください。MOディスク破損及び、本機故障の原因となります。

MOディスクが排出されないときは？

イジェクトボタンを押してもMOディスクを排出しない場合、ロクラク及び、本機の主電源を切った上、直系1mm程度のピンを手動イジェクトホールに入れ、押すことにより、MOディスクを取り出すことができます。



手動イジェクトホール

注意：本機のBUSYランプが点灯している時は、絶対にこの操作はしないでください。

MOディスクをクイックフォーマットする^{†1}

MOディスクをロクラクで使用できるようにクイックフォーマットし、固有のディスクIDを割り当てます。クイックフォーマットの場合には、ロクラクを操作してMOディスクに対してコピー、再生、削除ができるよう、システムの管理情報をMOディスクに書き込みます。物理フォーマットに比べると短時間で済み、数秒でフォーマットを完了します。

準備をする

MOディスクを物理フォーマットするには指定のMOディスクが必要です。^{†2}

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



ロクラクに拡張MOドライブユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「MOディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「MOディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張MOドライブユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

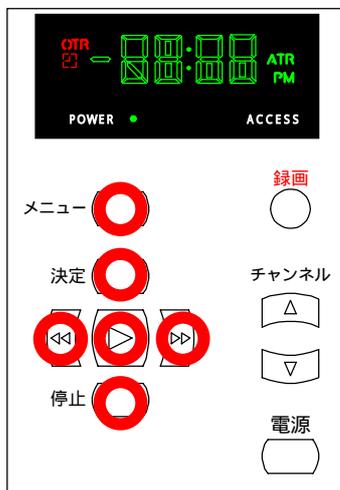
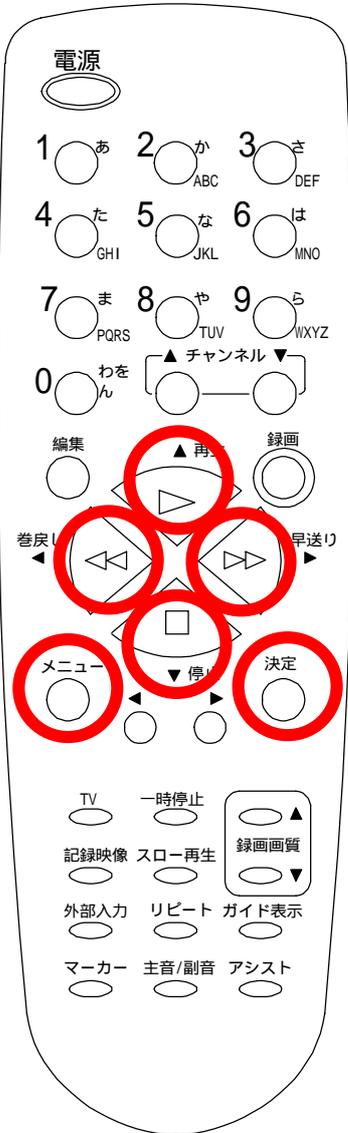
2 [(再生)] [(停止)]キーで「MOディスク」を選び [決定]キーを押す

・「MOディスク」メニューを表示します。



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ディスクフォーマット」を選び [決定]キーを押す

・「ディスクフォーマット」画面を表示します。

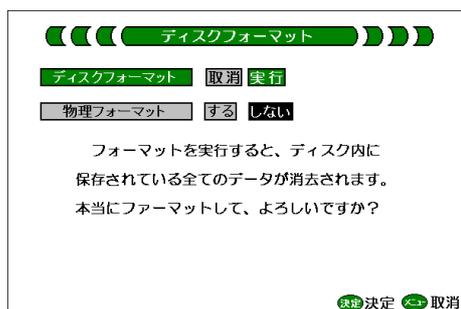


4 [(再生)][(停止)]キーで「ディスクフォーマット」を選び[決定]キーを押す

- ・「取消」にカーソルが移動します。

5 [(早送り)][(巻戻し)]キーで「実行」を選び[決定]キーを押す

- ・「フォーマットを実行すると、ディスク内に保存されている…」のメッセージを表示します。



- ・フォーマットしないときは「取消」で[決定]キーを押します。

6 [決定]キーを押す

- ・「ディスクフォーマット中!!」のメッセージを表示し、クイックフォーマットを実行します。^{†3}

フォーマットしないときは[メニュー]キーを押してください。

- †1 通常はこのフォーマットのみで使用可能となりますが、ご購入のMOディスクによっては、このフォーマットを実行してもご使用にならない場合があります。その場合には「MOディスクを物理フォーマットする」の頁を参照し、物理フォーマットしてください。
- †2 「MOディスクの使用について」の頁にて、使用可能なMOディスクを確認してください。
- †3 フォーマット中は、何の操作もできません。

MOディスクを物理フォーマットする^{†1}

MOディスクをロクラクで使用できるように全領域を初期化し、固有のディスクIDを割り当てます。物理フォーマットはMOディスクの全領域を初期化するため、およそ30分程度の時間がかかります。

準備をする

MOディスクを物理フォーマットするには指定のMOディスクが必要です。^{†2}

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



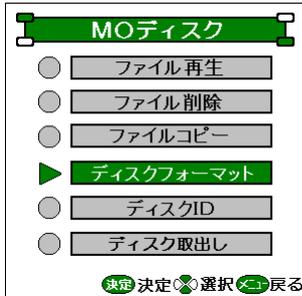
ロクラクに拡張MOドライブユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「MOディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「MOディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張MOドライブユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

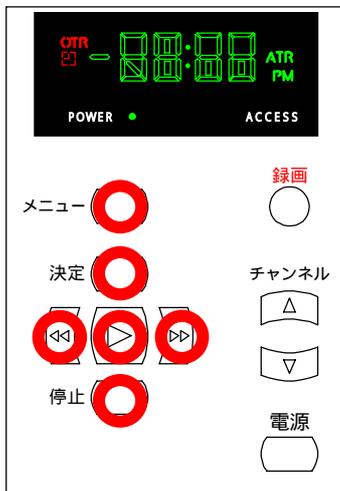
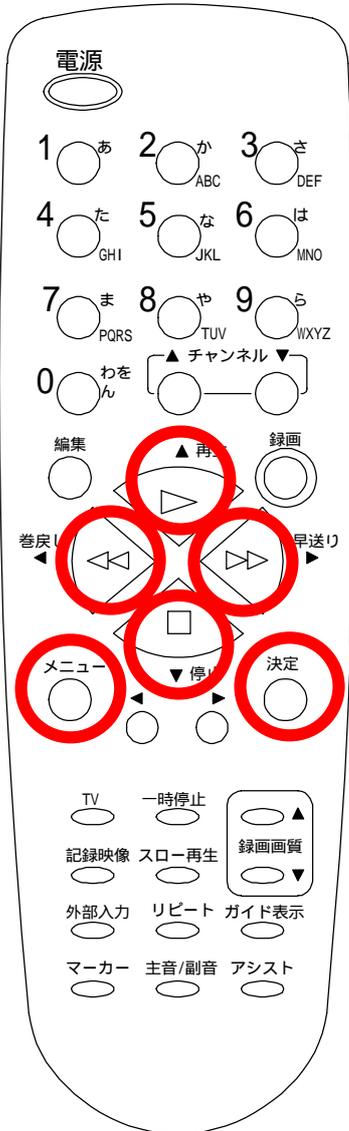
2 [(再生)] [(停止)]キーで「MOディスク」を選び [決定]キーを押す

・「MOディスク」メニューを表示します。



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ディスクフォーマット」を選び [決定]キーを押す

・「ディスクフォーマット」画面を表示します。



4 [(再生)][(停止)]キーで「物理フォーマット」を選び[決定]キーを押す

- ・「しない」にカーソルが移動します。



5 [(早送り)][(巻戻し)]キーで「する」を選び[決定]キーを押す

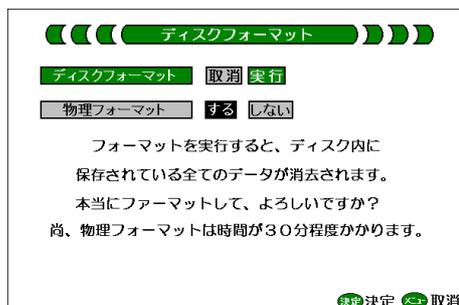
- ・「する」が選択された状態になります。

6 [(再生)][(停止)]キーで「ディスクフォーマット」を選び[決定]キーを押す

- ・「取消」にカーソルが移動します。

7 [(早送り)][(巻戻し)]キーで「実行」を選び[決定]キーを押す

- ・「フォーマットを実行すると、ディスク内に保存されている…」のメッセージを表示します。



8 [決定]キーを押す

- ・「ディスクフォーマット中!!」のメッセージを表示し、物理フォーマットを実行します。^{†2}

フォーマットしないときは[メニュー]キーを押してください。

- †1 物理フォーマットには時間がかかるため、クイックフォーマットをしてもMOディスクをご使用になれない場合のみ実行することをお勧めします。
- †2 「MOディスクの使用について」の頁にて、使用可能なMOディスクを確認してください。
- †3 フォーマット中は、何の操作もできません。

ディスクIDの確認

MOディスクをフォーマットするとそのMOディスクに固有のディスクIDが割り当てられます。フォーマットを実施したロクラク以外でMOディスクに記録したファイルの参照、再生及び、コピーなどをする場合には、ディスクIDの確認作業をしなければ「フォーマットされていません」のメッセージを表示しお使いいただけません。

フォーマットを実施したロクラク以外で、MOディスクの内容を参照したり、MOディスクから直接再生、MOディスクからロクラクにファイルをコピーする場合には、拡張MOドライブユニットにMOディスクを挿入する度に、この作業を実施する必要があります。†1

準備をする

MOディスクのディスクIDを確認するにはロクラクでフォーマットしたMOディスクが必要です。

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



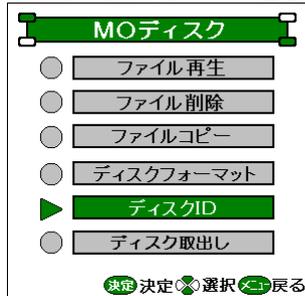
ロクラクに拡張MOドライブユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「MOディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「MOディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張MOドライブユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

2 [(再生)] [(停止)]キーで「MOディスク」を選び [決定]キーを押す

・「MOディスク」メニューを表示します。

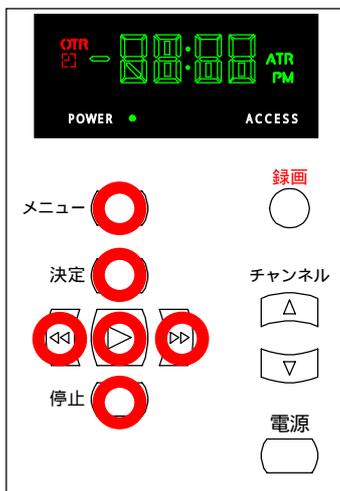
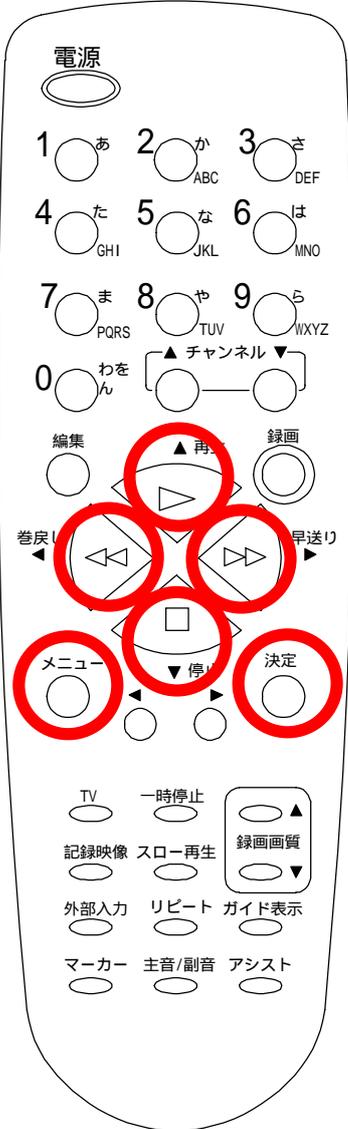


3 [(再生)] [(停止)]キーで「ディスクID」を選び [決定]キーを押す

・ロクラクを複数ご使用になっている場合には、MOディスクをフォーマットしたロクラクからディスクIDの確認をした場合とそうでない場合とで表示される画面が異なります。

MOディスクをフォーマットしたロクラクからディスクIDの確認をした場合には、手順4にお進みください。

MOディスクをフォーマットしたロクラク以外からディスクIDの確認をした場合には、手順5にお進みください。



4 MOディスクをフォーマットしたロクラクの場合

- ・ 下のような「ディスクID」画面を表示します。



この場合には5桁のディスクIDを表示します。
他のロクラクでこのMOディスクをご使用になる場合に必要となるIDです。

[メニュー]キーを押し、終了してください。

5 MOディスクをフォーマットしたロクラク以外の場合

5

- ・ 下のような「ディスクID」画面を表示します。



手順6 移行にお進みください。

6 [(早送り)] [(巻戻し)]キーで「実行」を選び[決定]キーを押す

- ・ 「IDを入力してください。」のメッセージを表示します。



7 [0～9]キーでID番号を入力し[決定]キーを押す

[(巻戻し)]キーで入力したID番号を1文字削除できます。

入力したディスクIDが正しかった場合には「IDを確認しました」のメッセージを表示します。



[メニュー]キーを押して終了してください。

以上の操作により、このMOディスクのファイルを参照、直接再生したり、MOディスクからロクラクにファイルをコピーできます。

(IDの確認ができて、MOディスクのファイルを削除したり、ロクラクのファイルをMOディスクにコピーしたりすることはできません。)

ディスクID未確認の場合には、そのMOディスクはロクラクでフォーマットされていないMOディスクと認識されるため、ライトプロテクトタブを書込み可能状態にしてフォーマットすると、フォーマットされてしまいますのでご注意ください。

ディスクIDの確認が完了しているMOディスクについてはフォーマットを実行しようとしてもフォーマットできません。

- ・入力したディスクIDが正しくなかった場合には、「IDが正しくないが、フォーマットがされていません。」のメッセージを表示し、MOディスクを操作できません。

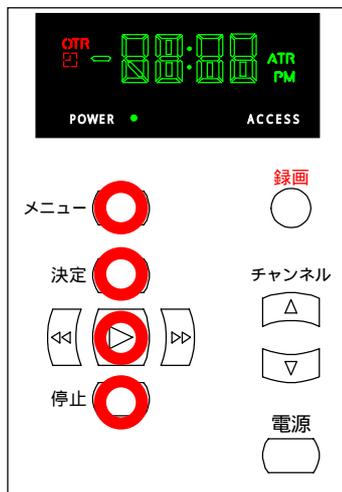
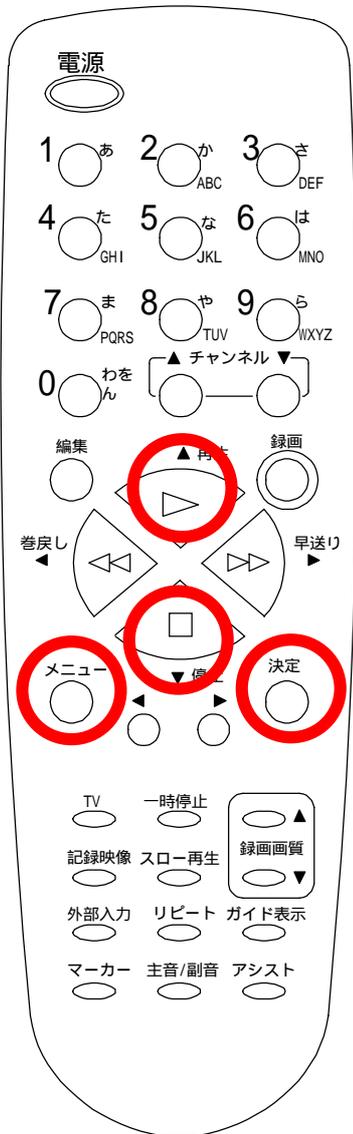
[メニュー]キー押し、終了するか、再びID入力作業を実施してください。

- † 1 ディスクIDの確認がとれたMOディスクでも、ロクラクからMOディスクへのファイルコピー、MOディスクのファイル削除はできません。この機能は、MOディスクをフォーマットしたロクラクのみ実行できます。

「ライトプロテクトがされているため、できません。」のメッセージを表示し、何もしないで処理を終了します。

MOディスクのファイルを直接再生する^{†1}

MOディスクに記録されたファイルを直接再生することができます。ただし、トリック再生(早送り、巻き戻し、一時停止、スロー再生)、プログラム再生などの高度な再生機能は使用できません。



準備をする

MOディスクをフォーマットしたロクラク以外から直接再生するには、ディスクIDの確認作業が必要です。(ID確認をしなかった場合は、「フォーマットされていません」のメッセージを表示し、MOディスクの内容を再生できません。)

1 [メニュー]キーを押す

- ・「ロクラク」メニューを表示します。



ロクラクに拡張MOドライブユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「MOディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「MOディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張MOドライブユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

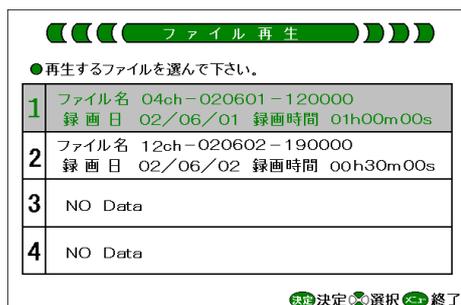
2 [(再生)] [(停止)]キーで「MOディスク」を選び [決定]キーを押す

- ・「MOディスク」メニューを表示します。



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ファイル再生」を選び [決定]キーを押す

- ・「ファイル再生」画面を表示します。



4 [(再生)][(停止)]キーで再生したいファイルを選び[決定]キーを押す

- ・選択したファイルをMOディスクから直接再生します。

MOディスクからはロクらくで可能なトリック再生(早送り、巻き戻し、一時停止、スロー再生)、プログラム再生などの高度な再生機能は実行できません。

- †1 MOディスクにアクセスしている時は本機のBUSYランプが点灯します。

MOディスクのファイルを削除する^{†1、2}

MOディスクに記録されているファイルをMOディスクから削除します。この機能を実行するには、MOディスクのライトプロテクトタブを書込み可能状態にしておく必要があります。

ご注意：

MOディスクをフォーマットしたロクラクでのみ操作できる機能です。MOディスクをフォーマットしたロクラク以外からは、ディスクIDの確認作業をしてもこの操作はできません。^{†3}

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



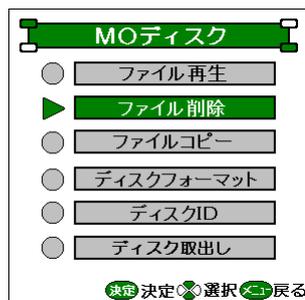
ロクラクに拡張MOドライブユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「MOディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「MOディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張MOドライブユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

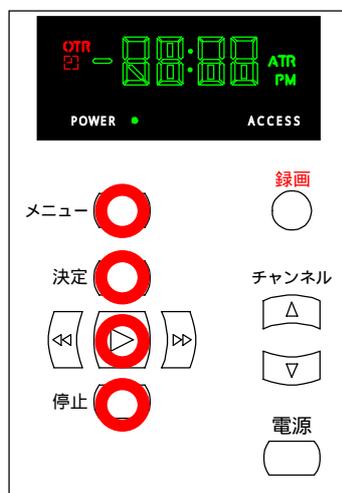
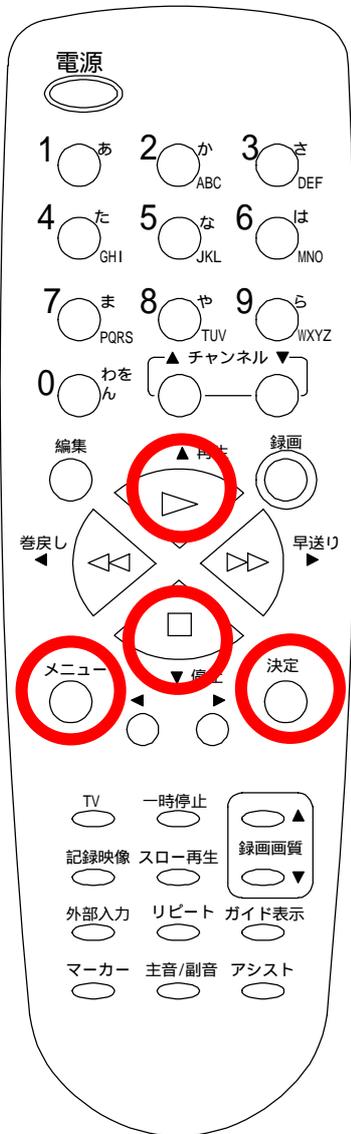
2 [(再生)] [(停止)]キーで「MOディスク」を選び [決定]キーを押す

・「MOディスク」メニューを表示します



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ファイル削除」を選び [決定]キーを押す

・「ファイル削除」画面を表示します。



MOディスクのファイルをロクラクにコピーする^{†1}

MOディスクのファイルをロクラクにコピーします。

準備をする

MOディスクをフォーマットしたロクラク以外からこの操作をするには、ディスクIDの確認作業が必要です。(ID確認をしなかった場合は、「フォーマットされていません」のメッセージを表示し、操作できません。)

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



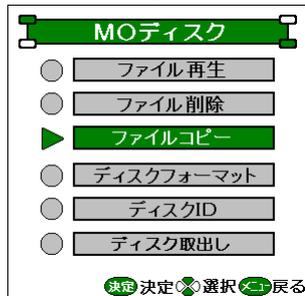
ロクラクに拡張MOドライブユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「MOディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「MOディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張MOドライブユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

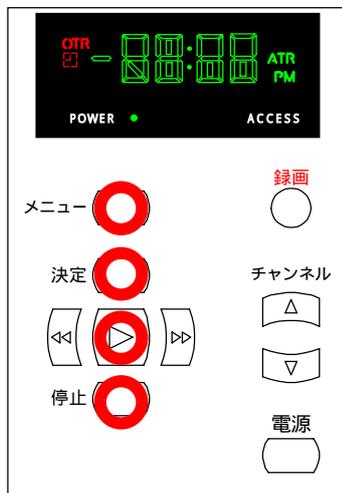
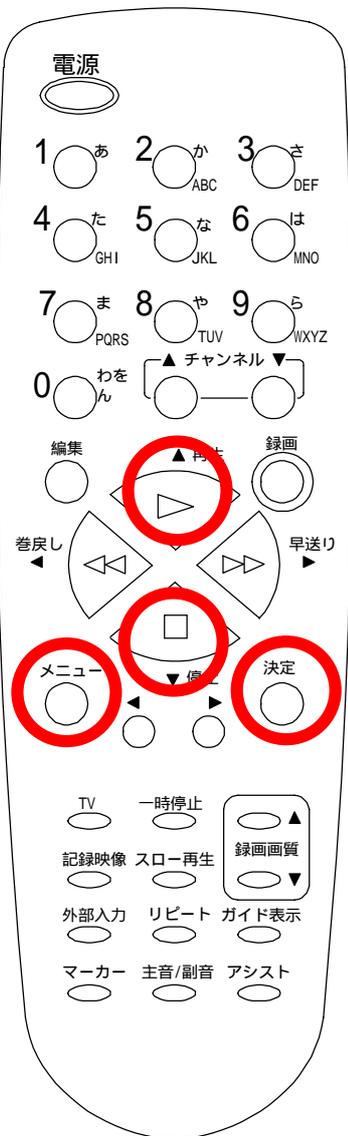
2 [(再生)] [(停止)]キーで「MOディスク」を選び [決定]キーを押す

・「MOディスク」メニューを表示します



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ファイルコピー」を選び [決定]キーを押す

・「ファイルコピー」画面を表示します。



4 [(再生)] [(停止)]キーでコピーしたいファイルを選び[決定]キーを押す

- ・”選択ファイルをコピーします。よろしいですか?”のメッセージを表示します。

5 コピーをする場合には[決定]キーを押す

- ・選択したファイルをロクラクにコピーします。^{†1、2、3、4}
コピー中は「只今、処理中です。しばらくお待ち下さい。」のメッセージを表示すると共に、ロクラクのフロントパネルに処理の状況をパーセント表示します。(100からカウントダウンし、0になるとコピーを完了します。)

コピーをしない場合には、[メニュー]キーを押してください。

- †1 コピーを途中で中断したい場合には、[メニュー]キーを押してください。(コピー作業を中断します。途中までコピーしたコピー先ファイルは、自動的に削除されます。MOディスクのファイル(コピー元)は削除されません。)
- †2 コピーしようとしたファイルと同じファイル名のファイルがロクラク側に存在した場合には、”同名のファイルが存在するため、コピーできません”のメッセージを表示します。この場合には、まず、ロクラク側の同名ファイルのファイル名を変更した後、もう一度始めからコピー作業を実施してください。
- †3 ロクラクへコピー中は、本機のBUSYランプが点灯します。(BUSYランプ点灯中はロクラクの電源、本機の電源を切ったり、本機の手動イジェクトホールを使いMOディスクを取り出したりしないでください。MOディスクの破損、本機故障の原因になります。)
- †4 コピー中は[イジェクト]ボタンは機能しません。

ロクラクのファイルをMOディスクにコピーする^{†1}

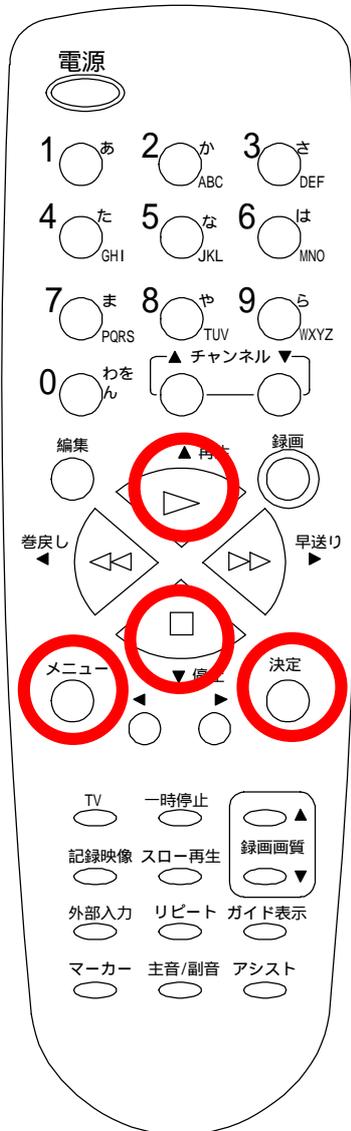
ロクラクのファイルをMOディスクにコピーします。ただし、コピーできるMOディスクは、そのロクラクでフォーマットしたMOディスクのみです。また、1枚のMOディスクに記録できるファイル数はMOディスクの容量に余裕があった場合でも最大4ファイルまでです。

ご注意：

MOディスクをフォーマットしたロクラクでのみ操作できる機能です。MOディスクをフォーマットしたロクラク以外からは、ディスクIDの確認作業をしてもこの操作はできません。^{†2}

1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



ロクラクに拡張MOドライブユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「MOディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「MOディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張MOドライブユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

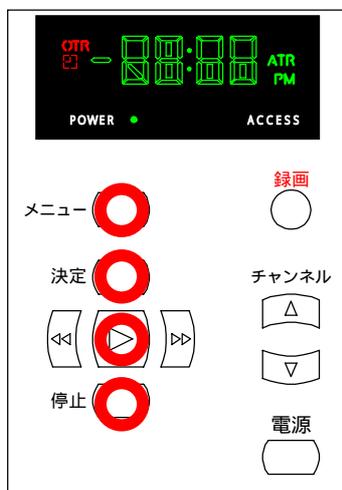
2 [(再生)][(停止)]キーで「画像データベース(編集)」を選び[決定]キーを押す

・「サムネイル画面」を表示します。



3 [(再生)][(停止)][(巻戻し)][(早送り)]キーでファイルを選び[決定]キーを押す

・「ファイルインフォメーション」が消え、「サムネイルメニュー」を表示します。



4 [(再生)][(停止)]キーで「ファイルコピー」を選び[決定]キーを押す

- ・コピー先選択を表示します。



5 [(巻戻し)][(早送り)]キーで「MO」を選び[決定]キーを押す^{†1}

- ・"選択ファイルをコピーします。よろしいですか?"と表示します。

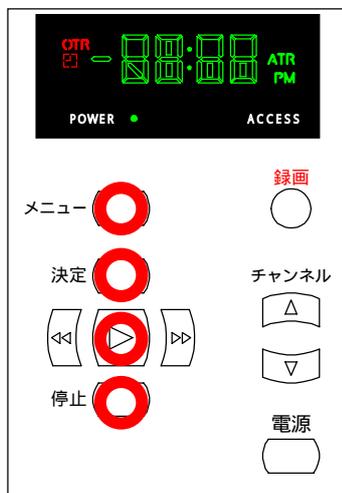
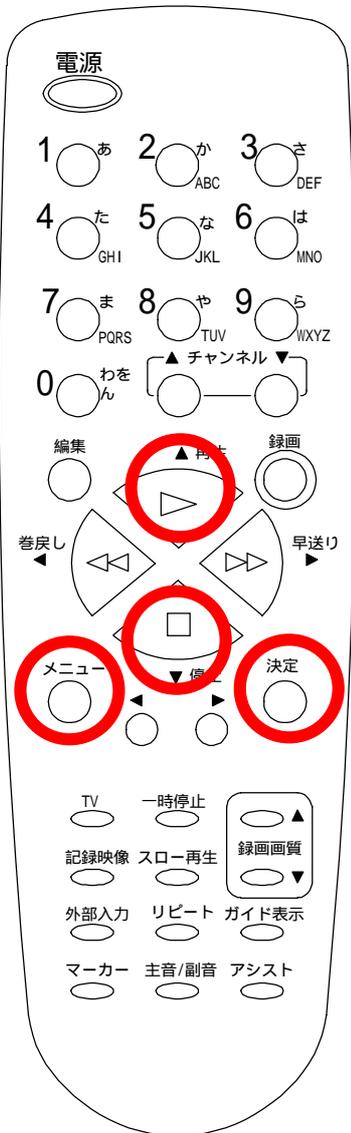
6 [決定]キーを押す^{†3、4、5}

- ・コピーが開始され、画面に「只今、処理中です。」と表示されます。
コピーにかかる時間はファイルの録画時間(大きさ)の約1/5時間が目安です。コピーされたファイル名の先頭はCOPYになります。また、コピーされたファイルには「ファイルインフォメーション」の「ファイル設定」に、マークが付きまます。
- ・コピーせず戻りたい時には、[メニュー]キーを押します。
・コピーが完了すると「サムネイル画面」に自動的に戻ります。

- †1 視聴(パスワード)制限が「する」になっているファイルのコピーは出来ません。
- †2 ディスクIDの確認がとれたMOディスクでも、ロクラクからMOディスクへのファイルコピー、MOディスクのファイル削除はできません。この機能は、MOディスクをフォーマットしたロクラクでのみ実行できます。
「ライトプロテクトがされているため、できません。」のメッセージを表示し、何もしないで処理を終了します。
- †3 コピーの進行状況の確認：
コピー中は「只今、処理中です。しばらくお待ち下さい。」のメッセージを表示すると共に、ロクラクのフロントパネルに処理の状況をパーセント表示します。(100からカウントダウンし、0になるとコピーを完了します。)
- †4 コピーを中止するには：
コピーを途中で中止したい場合には、「メニュー」キーを押してください。ファイルコピーを中止し、「サムネイル画面」に戻ります。コピーを中止した場合には、コピーファイルは作成されません。(途中までコピーしたコピー先ファイルは、自動的に削除されます。)
- †5 MOディスクへコピー中は、本機のBUSYランプが点灯します。(BUSYランプ点灯中はロクラクの電源、本機の電源を切ったり、本機の手動イジェクトホールを使いMOディスクを取り出ししたりしないでください。MOディスクの破損、本機故障の原因となります。)

ロクラクの操作でMOディスクを取り出す

ロクラクから操作してMOディスクを取り出します。



1 [メニュー]キーを押す

・「ロクラク」メニューを表示します。



ロクラクに拡張MOドライブユニットを接続してある場合のみ、「ロクラク」メニューに「MOディスク」の項目を表示します。

ロクラクに本機を接続しているのに、「MOディスク」の項目が表示されない場合には、本機が正常に認識されていません。

「拡張MOドライブユニットとロクラクを接続する」、「電源を入れる」の頁を参照し手順に間違いがないかご確認ください。

2 [(再生)] [(停止)]キーで「MOディスク」を選び [決定]キーを押す

・「MOディスク」メニューを表示します



3 [(再生)] [(停止)]キーで「ディスク取出し」を選び [決定]キーを押す

・本機からMOディスクを排出します。†1、2

†1 BUSYランプが点灯している間は、MOディスクの排出動作中です。無理に取り出さないでください。MOディスク破損及び、本機故障の原因となります。

†2 この操作をしてもMOディスクを排出しない場合には、「MOディスクを取り出す」の頁を参照して取り出してください。

メ モ

「拡張MOドライブユニット」ユーザー登録フォーム

この度は、日本デジタル家電製品をおもていただきまことにありがとうございます。ユーザー登録は、弊社からお客様へご連絡を差し上げる際の資料となりますので、シリアルナンバー、住所、e-mailアドレスなど記入もれのないように必ずご登録ください。

FAXによる登録

この「ユーザー登録フォーム」に必要事項を記入の上、下記FAX番号でFAXしてください。

FAX番号：03 - 5308 - 5081

製品名	拡張MOドライブユニット	シリアル番号	
ユーザー登録番号	* 既に登録されている方はその番号をご記入ください。		
登録区分	個人		法人(会社、学校、官公庁など)
ご住所 (ビル) (様方)	〒 フリガナ 都 道 府 県	フリガナ	TEL FAX
法人名 部署	フリガナ		TEL FAX
お名前 (ご担当)	フリガナ	様	男 女 大 昭 平 年 月生
E-mail アドレス			
Q1: ロクラクをどこでお求めになりましたか。 販売店(店名:) ウェブサイト その他()		Q4: どの機能に惹かれてご購入されましたか? 超・長時間 テープ不要 追いかけて再生等のトリックプレイ 高画質 編集機能 パソコンとの連携 (具体的に:) その他()	
Q2: ロクラクをどこで知りましたか。 雑誌(雑誌名:) 交通広告(路線名:) ウェブサイト 店頭で見て(店名:) 店員のすすめ(店名:) 知人のすすめ(知人との関係:) その他()		Q5: いまお持ちのビデオ機器は何ですか。 VHS DVD(再生専用) + VHSハイブリッド DVD(再生専用) DVD(録画/再生両用) その他() ビデオ録画/再生機器は持っていない	
Q3: パソコンとつないでお使いになりますか? はい (どのような目的で:) いいえ			
お忙しい中、ご協力いただき誠にありがとうございました。			



株式会社 日本デジタル家電



0120-498-798 <http://www.rokuraku.com>